APR 1995

-124969

Cited Reference in Search Report

Laid-open Patent Application No. 4-124969 laid open on April 24, 1992

Patent Application No. 2-246505 filed on September 17, 1990

Applicant: Fujitsu Ltd.

Inventors: Shigeo Matsunaga

Title: Facsimile Terminal Equipment

Claim:

1. Facsimile terminal equipment provided with: country dial number memory means(32) for storing country codes:

country designating means (30) for designating the country of an addressee;

domestic dial number input means (31) for inputting the domestic dial number of the addressee;

dial input control means(33); and

automatic dialing means(34), in which

said dial input control means (33) extracts the code of the country designated by said country designating means (30) from said country dial number memory means (32),

said dial input control means (33) subsequently prepares the dial number by combining said country code with the domestic dial number entered by said domestic dial number input means (31),

the complete dial number is notified from said dial input control means (33) to said automatic dialing means (34), and

said automatic dialing means(34) dials using the notified complete dial number of the addressee.

このため、鬼文が質配信されると多大の損害を

す可能性がある。

彼るような相手先には、奪因的にフルダイヤル者

〇年昨出頭公開 日本國特許庁(1月) 9

平4-124969 公開特許公報(A)

> @Int.Cl. ZZ ZZ

308

广内整理番号

@公開 平成4年(1992)4月24日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

フアクシミリ装置 の発明の名称 平2-246505 圈 费

平2(1990)9月17日 #3 69

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社 永 첝 柳 溫

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 頁 富士通株式会社 弁理士 并桁 \prec 順 理

りま

3. 免明の詳細な説明

係外ファクシミリ歯体におけるフルダイヤル協 本免別はファクシミリ雑間に関し、 作を配易化することを目的とし、

と、自動ダイヤル手段とを有し、粒ダイヤル人力 导记性手段と、相手先国別を指定する国別指定手 段と、相手先国内のダイヤル番号を入力する国内 ダイヤル番号入力手段と、ダイヤル入力制御手段 国気のダイヤル番号を記憶する国別ダイヤル番

> 号記憶手段(32)と、相手先国別を指定する国別指 定手段(30)と、相手先国内のダイヤル番号を入力 **「る国内ダイヤル番号人力手段(31)と、ダイヤル 人力側毎手段(33)と、自動ダイヤル手段(34)とを**

田段のダイナル帝与や院領する政政ダイナド帝

2 称作部状の配面

ファクシミリ協調 1. 発明の名称

イヤル非母を禁国別グイヤル非母記信年段から抽 出し、彼いて韓国内ダイヤル書号入力手段から入 力された国内ダイヤル番号とこもにファダイヤル 異数手段は、観覚指定手段で指定された国営のグ

数ダイヤル人力解御手段(33)は、国別指定手段

イナル番号記憶手段(32)から指出し、続いて禁困

(30)で始記された国路のダイヤル参与を韓国別ダ

内ダイヤル番号入力手段(31)から入力された国内 ダイヤル毎年とともにフルダイヤル毎年に温敷し 核自動ダイヤル年段(34)は、当当された終フル

てな自動がイヤル手段 (34) に当然し、

ゲイヤグ非中に格力の益単先にダイヤグからい

を特徴とするファクシミリ被国。

作やに指載して際自動ダイヤル手段に退倒し、数 自動ダイヤル手段は、道知されたなフルダイヤル 中中に特力を指手化にダイヤワナのように存成す

原象上の科用分野)

ことが多いが、当毎回数の少ない相手先に対して 号+相手先国内ダイヤル書号)をその都度人力す ナル、あるいはワンタッチダイヤルを用いて行う 従来、領外とのファクシミリ通信における相手 先ダイヤル番号の指定は、予め登録した短箱ダイ は、フルダイナル春号、即ち、(国別グイヤル番 (従来の技術及び発明が解決しようとする課題) ものか一番色にある。

を容易に指定できるファクシミリ盗属を提供する

ことを目的とする。

木苑県は、上記群圏に頼み、田宮ダイヤル神寺

間を受するという課題がある。

が多へ、 国際ダイヤア権与を加えるのに多大の母

国別ダイヤル書号は名判に記入されていない場合

ヤル番号は相手先の名割等で容易に分かっても、

いがあり、またはワンタッチダイヤルを用いる方 缶は押下国達いがあって、いずれも原配信を起こ しかし、首指ダイヤルを用いる方法は記憶回論

本処別は、海外とのファクシミリ遺体において、 相手先ダイヤル番号の指定方法の改善に関するも 近年、ファクシミリの普及はおざましく、福外 とのファクシミリ遊信も勉強な勢いで誓打してい 本発明はファクシミリ強調の改良に図する。 07.58

このフルダイヤル番号を用いる場合には、予め 相手先の国別のダイヤル春号と相手先の国内春号 とを買べて置く必要があるが、相手先の田内ダイ

中で指向であることが多い。

第1四十名氏の原道因において、 [韓間を解決するための手段]

30年国別指定年段で、相手先国別を指定するも 32は国路ダイヤル番号記憶予段で、国路のダイ ナル番号を記憶するもの、

> 31は国内ダイヤル番号人力手段で、相手先国内 33はダイヤル入力慰留手段(33)、 のダイヤル番号を入力するもの、

34年目動ダイヤル手段である。

子が、国別ダイヤル春号を国別ダイヤル番号記 11年段32に記憶させておく。 (年年)

ダイヤル入力制御手段33は、国別指定手段30で 号記信手段32から抽出し、銃いて国内ダイヤル番 **号入力手段31から入力された国内ダイヤル番号と** ともにフルダイヤル等やに諸裁して自動ダイヤル |反された国路のダイヤル番号を国路ダイヤル番

これにより、自動ダイヤル手段34は、過知され たフルダイヤル番号を使用して相手先にダイヤル 平段34に過知する。

以上のごとく、国政権定手段30で国別を指定し た後国内ダイヤル参与を入力すれば、海外の相手

先にダイヤルされるので、フルダイヤル時の遺作

性が改善される。

第2四は一実施史の指皮図、第3回は一実施の の操作師を表す図、第4図は操作例を表す図さる 本発明の実施的を図を用いて詳細に説明する。 (多紫灰)

向する) た、投資を磨を包留してファクシミリ当 信を行うとともに、ダイヤル番号の入力制御を行 1 は装置制物部(ダイヤル人力解却手段33に対 第2団は本発明を適用したファクシ 協反党を示すものである。因中、

2 は幾件部で、第3因に示すように、強作配内 的),田別人力4~25(国別指定手段30に対応), 幾作の中止等を行うストップキー22, スタートキ 表示都を行う表示图51. ダイヤルキーパッド24 (テンキー、国内ダイヤル番号人力手段31に対 —23卷を備える。

-420-

時間平4-124969(4)

特開平4-124969 (3)

する複数のキーより構成され、キートップには国 名が刻印されるか、または登録時の国名に応じて かんち棒が路なれれる。 1 は自動ダイヤル語(自動ダイヤル手段34に対 むする)で、牧糧制御御1 より過知されたダイヤ ル番号に益づき、NCU的8を介し、相手先にダ

1+110.

シミリ遊信に必要な銀作入力に使用される。また 国外の相手先にフルダイヤル番号を入力する場合 ダイヤルキーパッド24年、自国内を合む相手先 国内のダイヤル番号入力に使用される他、ファク は、このダイヤでキーパッド21より、ファダイヤ ル番号、即ち、相手先国別ダイヤル番号、相手先 院政部3、 裁取った画データを圧縮する圧縮師4、 建手段32に対応)で、不揮発性のメモリで構成さ その他、オファクジミリ猫輩は、原稿を読取る 10は国営ダイヤル権争記信仰(国別ダイヤル記 れ、予め、国別ダイヤル春号が登録されている。

以上様成のファクシミリ雑詞において、以下に **水ず盤作ならびに気笛によって、第外にダイヤル** * 1. 6.

四内ダイナル毎年の風で入力する。

を記録出力する記録的2、回数を超過するNCU

節(梶原御節)8、ファクシミリ遺体制御を行う

自信制御部9 帯より模成される。

受信した西データを復元する復元部6、 高データ

なお、鍵作手順は、第1四に示すように、表示

的21による選作既内表示に従って行われ、また、 データの流れは第2四〇〜四に示している。 (操作1) 原稿をセットする。

トルの登扱と同様の方法で利用者が登録してもよ

なお、国別ダイヤル番号の登録は、予め装置と して登録しておいてもよく、またワングッチダイ

日時,時刻等とともにダイヤル番号の入力案内を これにより被調整治物1 は、初製画面として、

表示する.

国路を指定する国路人力キー25は、国別に対応

第3四に旗作的2 における旗作団の敷部を示し

たものである。

以上のごとく、 フルダイヤルで森外道稿を行う とき、国別入力キー25により国別を指定し、続い **て柏平光国内ダイヤル準电をダイヤルキーパッド**

(操作11) 国別人力キー25のうち、例えば「米

これにより、松質量質的1 は海外へのダイヤル

囮」キーを推下する。(第2図囚)

と反乱し、国路ダイヤル参与に信用10より「米

21より入力することにより、消外の相手先にダイ

もひされる。

以上裁明したように、本発明は、国別のダイヤ

(乾野の効果)

特保持するとともに、第4図に示すように「米国

-001-1 」のごとく表示する。

5.指法フ(第2.図②)、図水伯易したメモリに一

国」キーに対応する国窓ダイヤル専歩「001-1 」

国別人力キー都下後、柏手先の国内ダイヤル番号 を指定するようにしたファクシミリ装置を提供す 5 もので、フルダイヤルによる海外通信でも、配 単にダイヤルすることが凹続となり、磁作机が改

州元 ぱ「203-796-5665」モグイヤルキーパッド24

こより入力する。

(操作目) 狭いて相手先国内のダイヤル番号、

ル番もの子の記録してかき、第外グイナル移は、

第1四年本党界の原理図、第2回は一実施会の 禁長因、第3四は一実施安の指作部を表す囚、第

4. 図面の簡単な説明

あされる。

Nダイヤル番号「001-1 」と、人力された相手先 国内ダイヤル番号「203-796-5665」とによってフ

ルダイヤル「001-1-203-796-5665」に踏焦する。

(遊作N) スタートキー23を存下する。

にれにより、撤費的金幣1 は、一時保持した国

因中、1 共統領的益物、2 共議作物、3 共教教

4 図は誰な堂を載す図である。

ナル番号「001-1-203-796-5665」を目動ダイヤル

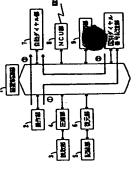
これにより、被国慰難的! は脂煮したフルダイ

第1 に過答し、回憶ダイヤル終1 はNCU傍8 か

介して柏平先にダイヤルする。

11巻ダイヤル物、8 片NCU塔、8 は過荷息部線、 8、4 环压基的、5 年配基的、6 环烷污秽、1 年 10年四期ダイヤル番号記憶部、21は表示部、22年 ストップキー、23はスタートキー、24はダイキル キーパッド、25は国別人力キー、30は国別指定手 段、31は国内ダイヤル番号人力手段、32は国別ダ イナル番号記憶手段、33はダイヤル入力制御手段. 34は自動ダイヤル手段である。

CENTRAL PROPERTY 53 --



型 3 章 DESCRIPTION OF THE PERSON OF T

##

代理人 弁理士

交通 3. Ŷ 2 **X** * 8 0 7 ×9-14-STUT B

295-92-03 9: 82-92-93 9: 82-92-93 200 -001-1/ 9: 20: 75: 565 日本書 名手先日の書手入り 手套 品 MATERIAL TOTAL 無作び スター

単作がをえた回

-472-

-471-

対象を選択的を見す図

⑩ 日本国特許庁(JP)

产出願公開

⑫ 公 開 特 許 公 報 (A)

平4-124969

⑤Int. Cl. 5

庁内整理番号

匈公開 平成 4年(1992) 4月24日

H 04 N H 04 M

1/27 11/00 F

2109-5C 7190-5K

302

識別記号

7117-5K

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

会発明の名称

フアクシミリ装置

20特 頤 平2-246505

22出 頭 平2(1990)9月17日

明 @発 者 松 永 重

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社

创出 頭 人 富士通株式会社

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

倒代 理 弁理士 井桁 貞一

1. 発明の名称

フェクシミリ装置

2. 特許請求の範囲

国別のダイヤル番号を記憶する国別ダイヤル番 号記憶手段(32)と、相手先国別を指定する国別指 定手段(30)と、相手先国内のダイヤル番号を入力 する国内ダイヤル番号入力手段(31)と、ダイヤル 入力制御手段(33)と、自動ダイヤル手段(34)とを 有し、

| 該ダイヤル入力制御手段(33)は、国別指定手段 (30)で指定された国別のダイヤル番号を該国別ダ イヤル番号記憶手段(32)から抽出し、続いて該国 内ダイヤル番号入力手段(31)から入力された国内 ダイヤル番号とともにフルダイヤル番号に編集し て該自動ダイヤル手段(34)に通知し、

該自動ダイヤル手段(34)は、通知された該フル ダイヤル番号に基づき相手先にダイヤルすること を特徴とするファクシミリ装置。

3. 発明の詳細な説明

(概要)

本発明はファクシミリ装置に関し、

海外ファクシミリ通信におけるフルダイヤル操 作を簡易化することを目的とし、

国別のダイヤル番号を記憶する国別ダイヤル番 号記憶手段と、相手先国別を指定する国別指定手 段と、相手先国内のダイヤル番号を入力する国内 ダイヤル番号入力手段と、ダイヤル入力制御手段 と、自動ダイヤル手段とを有し、核ダイヤル入力 制御手段は、国別指定手段で指定された国別のダ イヤル番号を該国別ダイヤル番号記憶手段から抽 出し、統いて該国内ダイヤル番号入力手段から入 力された国内ダイヤル番号とともにフルダイヤル 番号に編集して抜自動ダイヤル手段に通知し、該 自動ダイヤル手段は、通知された該フルダイヤル 番号に基づき相手先にダイヤルするように構成す る.

(産業上の利用分野)

本発明はファクシミリ装置の改良に関する。

近年、ファクシミリの普及はめざましく、海外 とのファクシミリ通信も急激な勢いで増加している。

本発明は、海外とのファクシミリ通信において、 相手先ダイヤル番号の指定方法の改善に関するも のである。

(従来の技術及び発明が解決しようとする課題)

従来、海外とのファクシミリ通信における相手 先ダイヤル番号の指定は、予め登録した短縮ダイヤル、あるいはワンタッチダイヤルを用いて行う ことが多いが、通信回数の少ない相手先に対して は、フルダイヤル番号、即ち、(国別ダイヤル番 号+相手先国内ダイヤル番号)をその都度入力す るのが一般的である。

しかし、短縮ダイヤルを用いる方法は記憶間違いがあり、またはワンタッチダイヤルを用いる方法は押下間違いがあって、いずれも誤配信を起こ

す可能性がある。

このため、電文が誤配信されると多大の損害を 被るような相手先には、意図的にフルダイヤル番 号で指定させることが多い。

このフルダイヤル番号を用いる場合には、予め相手先の国別のダイヤル番号と相手先の国内番号とを調べて置く必要があるが、相手先の国内ダイヤル番号は相手先の名刺等で容易に分かっても、国別ダイヤル番号は名刺に記入されていない場合が多く、国別ダイヤル番号を調べるのに多大の時間を要するという課題がある。

本発明は、上記課題に鑑み、国別ダイヤル番号を容易に指定できるファクシミリ装置を提供する ことを目的とする。

(課題を解決するための手段)

第1図本発明の原理図において、

32は国別ダイヤル番号記憶手段で、国別のダイヤル番号を記憶するもの、

30は国別指定手段で、相手先国別を指定するも

Ø 、

31は国内ダイヤル番号入力手段で、相手先国内 のダイヤル番号を入力するもの、

33はダイヤル入力制御手段(33)、

34は自動ダイヤル手段である。

〔作 用〕

予め、国別ダイヤル番号を国別ダイヤル番号記憶手段32に記憶させておく。

ダイヤル入力制御手段33は、国別指定手段30で 指定された国別のダイヤル番号を国別ダイヤル番 号記憶手段32から抽出し、続いて国内ダイヤル番 号入力手段31から入力された国内ダイヤル番号と ともにフルダイヤル番号に編集して自動ダイヤル 手段34に通知する。

これにより、自動ダイヤル手段34は、通知されたフルダイヤル番号を使用して相手先にダイヤルする。

以上のごとく、国別指定手段30で国別を指定した後国内ダイヤル番号を入力すれば、海外の相手

先にダイヤルされるので、フルダイヤル時の操作性が改善される。 -

(実施例)

本発明の実施例を図を用いて詳細に説明する。 第2図は一実施例の構成図、第3図は一実施例 の操作部を表す図、第4図は操作例を表す図である。

第2図は本発明を適用したファクシミリ装置の 構成例を示すものである。図中、

1 は装置制御部(ダイヤル入力制御手段33に対応する)で、装置各部を制御してファクシミリ通信を行うとともに、ダイヤル番号の入力制御を行う。

2 は操作部で、第3図に示すように、操作案内 表示等を行う表示部21、ダイヤルキーパッド24 (テンキー、国内ダイヤル番号入力手段31に対 応)、国別入力キー25 (国別指定手段30に対応)、 操作の中止等を行うストップキー22、スタートキ ー23等を備える。 7 は自動ダイヤル部(自動ダル手段34に対応する)で、装置制御部1 より通知されたダイヤル番号に基づき、NCU部8 を介し、相手先にダイヤルする。

10は国別ダイヤル番号記憶部(国別ダイヤル記憶手段32に対応)で、不揮発性のメモリで構成され、予め、国別ダイヤル番号が登録されている。

その他、本ファクシミリ装置は、原稿を読取る 読取部3、読取った画データを圧縮する圧縮部4、 受信した画データを復元する復元部6、 画データ を記録出力する記録部5、 回線を制御するNCU 部(網制御部)8、ファクシミリ通信制御を行う 通信制御部9等より構成される。

なお、国別ダイヤル番号の登録は、予め装置と して登録しておいてもよく、またワンタッチダイ ヤルの登録と同様の方法で利用者が登録してもよ い。

第3図は操作部2 における操作面の要部を示したものである。

国別を指定する国別入力キー25は、国別に対応

(操作Ⅱ) 国別入力キー25のうち、例えば「米 国」キーを押下する。 (第2図①)

これにより、装置制御部1 は海外へのダイヤルと認識し、国別ダイヤル番号記憶部10より「米国」キーに対応する国別ダイヤル番号「001-1」を抽出し(第2図②)、図示省略したメモリに一時保持するとともに、第4図に示すように「米国=001-1」のごとく表示する。

(操作皿) 続いて相手先国内のダイヤル番号、例えば「203-796-5665」をダイヤルキーパッド24により入力する。

これにより、装置制御部1 は、一時保持した国別ダイヤル番号「001-1 」と、入力された相手先国内ダイヤル番号「203-796-5665」とによってフルダイヤル「001-1-203-796-5665」に編集する。(操作IV) スタートキー23を押下する。

これにより、装置制御部1 は編集したフルダイヤル番号「001-1-203-796-5665」を自動ダイヤル部7 に通知し、自動ダイヤル部7 はNCU部8 を介して相手先にダイヤルする。

する複数のキーより構成させ、キートップには国名が刻印されるか、または登録時の国名に応じて ラベル等が貼付される。

ダイヤルキーパッド24は、自国内を含む相手先国内のダイヤル番号入力に使用される他、ファクシミリ通信に必要な操作入力に使用される。また国外の相手先にフルダイヤル番号を入力する場合は、このダイヤルキーパッド24より、フルダイヤル番号、即ち、相手先国別ダイヤル番号。相手先国内ダイヤル番号の順で入力する。

以上構成のファクシミリ装置において、以下に 示す操作ならびに制御によって、海外にダイヤル される。

なお、操作手順は、第4図に示すように、表示 部21による操作案内表示に従って行われ、また、 データの流れは第2図①~③に示している。

(操作!) 原稿をセットする。

これにより装置制御部1は、初期画面として、 日時、時刻等とともにダイヤル番号の入力案内を 表示する。

以上のごとく、フルダイヤルで海外通信を行う とき、国別入力キー25により国別を指定し、続い て相手先国内ダイヤル番号をダイヤルキーパッド 24より入力することにより、海外の相手先にダイ ヤルされる。

(発明の効果)

以上説明したように、本発明は、国別のダイヤル番号を予め記憶しておき、海外ダイヤル時は、国別入力キー押下後、相手先の国内ダイヤル番号を指定するようにしたファクシミリ装置を提供するもので、フルダイヤルによる海外通信でも、簡単にダイヤルすることが可能となり、操作性が改善される。

4. 図面の簡単な説明

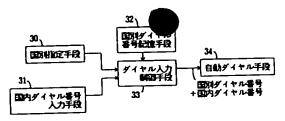
第1図は本発明の原理図、第2図は一実施例の 構成図、第3図は一実施例の操作部を表す図、第 4図は操作例を表す図である。

図中、1 は装置制御部、2 は操作部、3 は読取

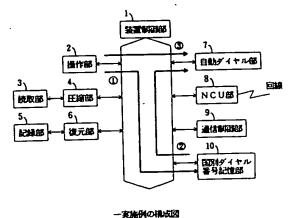
特開平4-124969(4)

部、4 は圧縮部、5 は記録部、6 元部、7 は自動ダイヤル部、8 はNCU部、9 は通信制御部、10は国別ダイヤル番号記憶部、21は表示部、22はストップキー、23はスタートキー、24はダイヤルキーパッド、25は国別入力キー、30は国別指定手段、31は国内ダイヤル番号入力手段、32は国別ダイヤル番号記憶手段、33はダイヤル入力制御手段、34は自動ダイヤル手段である。

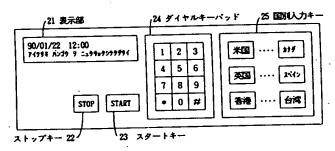
代理人 弁理士 井桁 貞一



本発明の原理図 第 1 図



第2图



一実施例の操作部を表す図 第 3 図

操作例を表す図 第 4 図